

【東大和市】胃がん検診（胃部エックス線検査） 平成29年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく胃がん検診の実施状況＞

対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	している
検査方法（胃部エックス線検査）	している
検査方法（胃内視鏡検査）	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	17,864	19,925	37,789
【東京都調査による対象者率（市町村部）：56.4%】			
実際の受診者数	190	323	513

※＜国の指針に基づく胃がん検診の実施状況＞＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞は令和元年度の状況、＜がん検診チェックリスト実施状況の評価＞は「令和元年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」の結果である。

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	胃部エックス線（35～39歳）
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

＜がん検診チェックリスト実施状況の評価＞

	実施率	評価
集団検診	71.2%	C ← 評価「C」以下を改善指導対象とする。
個別検診		

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	2.7%	4.5%	3.7%
要精検率	11%以下	12.6%	8.7%	10.1%
精検受診率	70%以上	100.0%	96.4%	98.1%
精検未把握率	10%以下	0.0%	3.6%	1.9%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	4.2%	0.0%	1.9%
がん発見率	0.11%以上	0.53%	0.00%	0.19%

※受診率はエックス線検査または内視鏡検査を受診した者の合算集計である

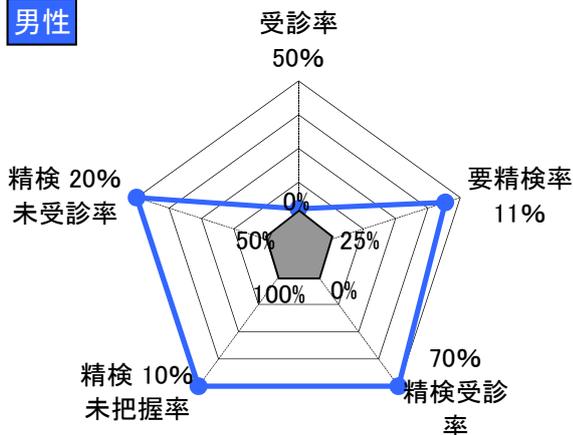
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

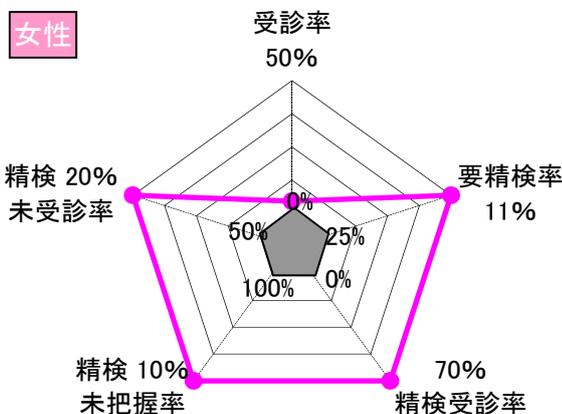
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

＜要精検率＞

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

【東大和市】 肺がん検診 平成29年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく肺がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	24,985	26,602	51,587
【東京都調査による対象者率（市町村部）：63.5%】			
実際の受診者数	502	666	1,168

＜がん検診チェックリスト実施状況の評価＞

	実施率	評価
集団検診	80.4%	C
個別検診		

←評価「C」以下を改善指導対象とする。

※＜国の指針に基づく胃がん検診の実施状況＞＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞は令和元年度の状況、＜がん検診チェックリスト実施状況の評価＞は「令和元年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」の結果である。

＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	3.2%	3.9%	3.6%
要精検率	3%以下	2.8%	1.8%	2.2%
精検受診率	70%以上	100.0%	100.0%	100.0%
精検未把握率	10%以下	0.0%	0.0%	0.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	7.1%	0.0%	3.8%
がん発見率	0.03%以上	0.20%	0.00%	0.09%

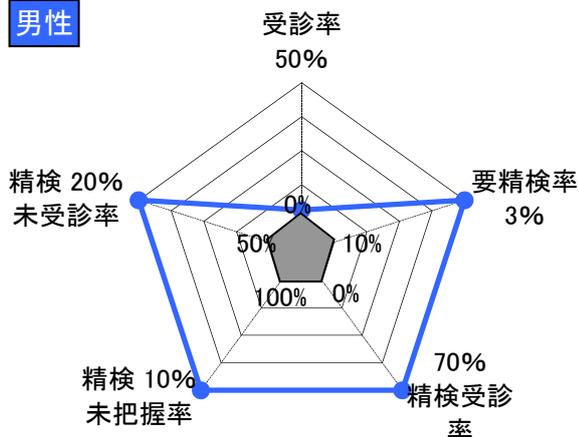
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

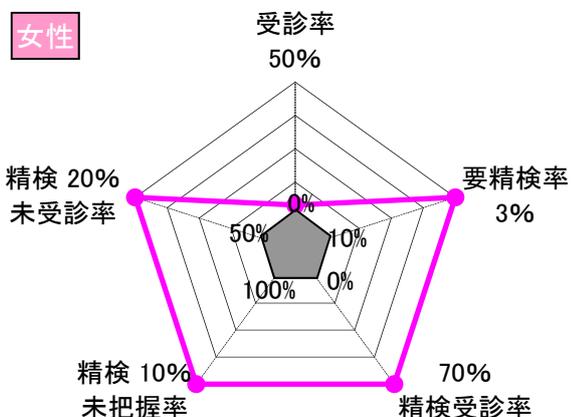
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

【東大和市】大腸がん検診 平成29年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	24,985	26,602	51,587
【東京都調査による対象者率（市町村部）：59.6%】			
実際の受診者数	807	1,176	1,983

<がん検診チェックリスト実施状況の評価>

	実施率	評価
集団検診	71.2%	C
個別検診	67.3%	D

←評価「C」以下を改善指導対象とする。

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は令和元年度の状況、<がん検診チェックリスト実施状況の評価>は「令和元年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」の結果である。

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.4%	7.4%	6.4%
要精検率	7%以下	7.9%	5.9%	6.7%
精検受診率	70%以上	84.4%	87.0%	85.7%
精検未把握率	10%以下	6.3%	1.4%	3.8%
精検未受診率	20%以下	9.4%	11.6%	10.5%
陽性反応適中度	1.9%以上	6.3%	1.4%	3.8%
がん発見率	0.13%以上	0.50%	0.09%	0.25%

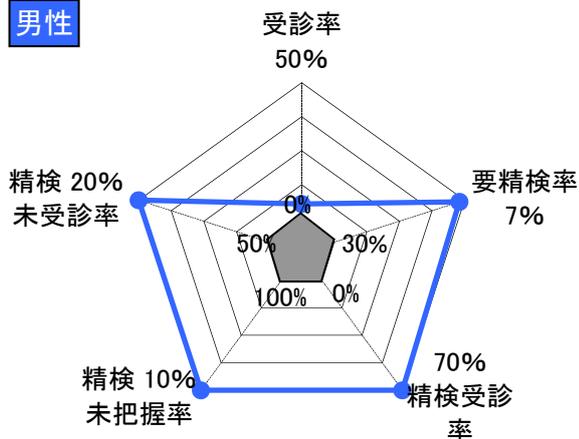
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

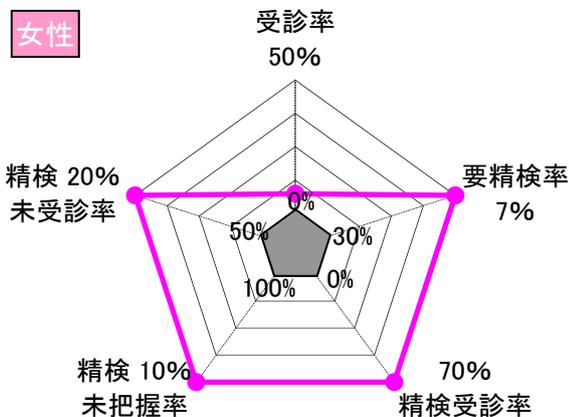
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

【東大和市】 子宮頸がん検診 平成29年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		35,800	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：60.4%】			
実際の受診者数		1,444	

<がん検診チェックリスト実施状況の評価>

	実施率	評価
集団検診		
個別検診	74.5%	C

←評価「C」以下を改善指導対象とする。

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は令和元年度の状況、<がん検診チェックリスト実施状況の評価>は「令和元年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」の結果である。

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		12.1%	
要精検率	1.4%以下		2.3%	
精検受診率	70%以上		90.9%	
精検未把握率	10%以下		6.1%	
精検未受診率	20%以下		3.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		3.0%	
がん発見率	0.05%以上		0.07%	

プロセス指標についての解説

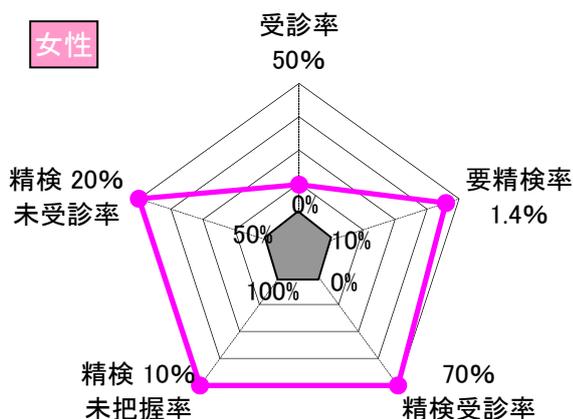
リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

女性



<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

【東大和市】 乳がん検診 平成29年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		26,602	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：63.9%】			
実際の受診者数		1,368	

<がん検診チェックリスト実施状況の評価>

	実施率	評価
集団検診	67.3%	D
個別検診	67.3%	D

←評価「C」以下を改善指導対象とする。

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は令和元年度の状況、<がん検診チェックリスト実施状況の評価>は「令和元年度市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」の結果である。

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		15.6%	
要精検率	11%以下		8.7%	
精検受診率	80%以上		89.9%	
精検未把握率	10%以下		4.2%	
精検未受診率	10%以下		5.9%	
陽性反応適中度	2.5%以上		5.9%	
がん発見率	0.23%以上		0.51%	

プロセス指標についての解説

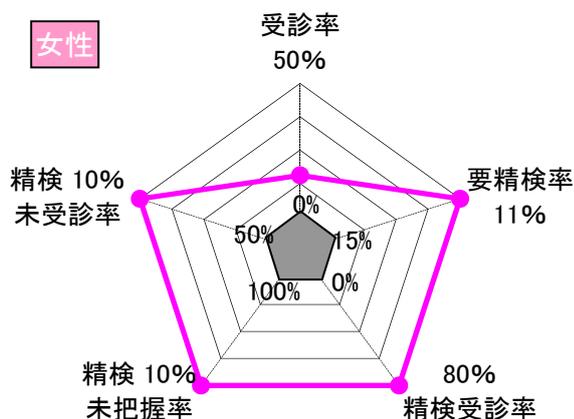
リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

女性



<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。